

施設モニターアンケート用紙

氏名： _____

以下に記載している対象施設と取組内容は、外部の学識経験者や専門機関の職員で構成される「有識者会議」からこのたび受け取った、「明石市公共施設配置適正化の取り組みへの提言」の中で示されたものです。

施設それぞれの内容につきまして、モニターの皆様の率直なご意見をいただきたいと考えておりますので、以下をご覧の上、各問いにご回答くださいますよう、ご協力をお願いします。

ご回答期限 平成28年4月15日（金）までに、同封の返信用封筒によりご投函をお願いします。

No	対象施設	取組内容（提言から抜粋）	問 あなたの考えに最も近い選択肢を○で選んでください。 選択肢②、③、④を選んだ場合は、その理由もあわせてご記入ください。			
			選択肢①	選択肢②	選択肢③	選択肢④
1	サービスコーナー ・戸籍、住民登録に関する受付や各種証明書の交付を行う施設（市内5カ所）	サービスコーナーは、マイナンバー制度やコンビニ交付の普及等による各種証明等の取扱件数の推移を見ながら、廃止を含め規模の縮小を検討すること。（集約化）	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
2	中学校区コミュニティ・センター ・生涯学習活動の拠点として、各種講座、サークル活動、交流行事を行う施設（主に中学校内で市内16カ所）	中学校区コミセンは、生涯学習や文化・スポーツ活動の拠点であるが、全ての施設で同じサービスを提供するのではなく、地域のニーズに応じた規模やサービスを検討すること。 コミセンは、地域におけるまちづくりの拠点であり、地域がより有効に活用できるよう、地域主体の運営に転換することが望ましい。	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
3	高齢者ふれあいの里 ・高齢者の心身の健康増進、レクリエーション及び教養の向上の場を提供する施設（市内4カ所）	施設で提供しているサービスのうち、介護予防や健康増進といったサービスは、全市的に実施する必要があるため、小・中学校やコミセン等を利用し、市内全域での事業展開を進め、施設は集約化または廃止を検討すること。（集約化または廃止）	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
4	厚生館 ・生活上の相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う施設（市内7カ所）	人権施策は全市的に推進する必要があるため、小・中学校やコミセン等、市民が集いやすい施設での事業展開を進め、現在の施設については、地域の意向を踏まえながら、地域への移管や他施設への転用も含め、集約化に向けた検討を行うこと。（集約化・転用）	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			

No	対象施設	取組内容（提言から抜粋）	問 あなたの考えに最も近い選択肢を○で選んでください。 選択肢②、③、④を選んだ場合は、その理由もあわせてご記入ください。			
			選択肢①	選択肢②	選択肢③	選択肢④
5	小学校 中学校	<p>良好な教育環境を確保するため、児童・生徒数の将来推計を見ながら、学級数が標準より少ない小規模校（小学校は11学級以下、中学校は8学級以下）については統廃合の検討対象とし、早期に検討を進めること。</p> <p>段階的な取り組みとして、校舎の減築や集約化を進めるとともに、余裕教室については、多世代との交流や地域コミュニティの拠点として、他用途（コミュニティ施設や福祉施設）への転用を検討すること。 （集約化・複合化）</p>	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
6	勤労福祉会館 ・勤労市民の諸会合や研修、スポーツ・レクリエーションの振興のための場所を提供する施設（明石地区に1カ所）	<p>当施設の利用実態を見れば、施設の必要性が乏しくなっており、近隣のコミセンや民間スポーツ施設等でも代替することが可能な施設であるため、他用途への転用または廃止を検討すること。（転用または廃止）</p>	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
7	中高年齢労働者福祉センター （サンライフ明石） ・中高年齢労働者の諸会合や研修、スポーツ・レクリエーションの振興のための場所を提供する施設（西明石地区に1カ所）	<p>当施設の利用実態を見れば、施設の必要性が乏しくなっており、近隣のコミセンや民間スポーツ施設等でも代替することが可能な施設であるため、他用途への転用または廃止を検討すること。（転用または廃止）</p>	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
8	少年自然の家 ・健全な青少年を育成するため、集団宿泊や野外活動の場を提供する施設（大久保地区に1カ所）	<p>小学生の集団宿泊を通して子どもの健全な育成を図るという教育目的を達成する上で、当施設は不可欠な施設とはいえないため、施設の老朽化が進んでいる現状を踏まえて、他自治体の類似施設や他の教育活動で代替できないかといった観点から、施設の廃止を含めて検討すること。（廃止）</p>	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			
9	市営住宅	<p>市営住宅の適正戸数を見極めながら、耐震性の低い住宅棟やエレベーター等のバリアフリー設備が未整備である住宅棟の計画的な廃止、集約化や空き室の他用途への転用を進めるとともに、指定管理者制度等の民間活力の活用など維持管理コストの縮減に取り組む必要がある。</p> <p>また、民間住宅の借り上げや家賃補助、高齢者世帯や子育て世帯の優先入居など、社会情勢等に応じて新たな住宅施策を実施することも検討すること。 （集約化）</p>	①そのとおり進めるべきである	②見直しをするべきではない	③違う取組内容で進めるべきである	④その他
			【選択肢②～④を選んだ理由】			

アンケートは以上で終わりです。ご回答いただきありがとうございました。同封の返信用封筒によりご投函をお願いします。